

環境委員会

委員一覧（20名）

委員長	長浜	博行（立憲）	尾辻	秀久（自民）	宮崎	勝（公明）
理事	滝沢	求（自民）	関口	昌一（自民）	柳田	稔（民主）
理事	三木	亨（自民）	松山	政司（自民）	山下	芳生（共産）
理事	徳永	エリ（立憲）	丸川	珠代（自民）	寺田	静（無）
理事	片山	大介（維新）	芝	博一（立憲）	橋本	聖子（無）
	石井	準一（自民）	鉢呂	吉雄（立憲）	平山	佐知子（無）
	猪口	邦子（自民）	竹谷	とし子（公明）		（会期終了日 現在）

（1）審議概観

第204回国会において、本委員会に付託された法律案は、内閣提出4件（うち本院先議1件）であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願3種類30件は、いずれも保留とした。

〔法律案の審査〕

瀬戸内海環境保全特別措置法の一部を改正する法律案（閣法第43号）は、瀬戸内海における生物の多様性及び水産資源の持続的な利用の確保を図るため、関係府県知事が栄養塩類の管理に関する計画を定めることができる制度の創設、自然海浜保全地区の指定対象の拡充等の措置を講じようとするものである。

委員会においては、気候変動の観点の基本理念に追加した理由、栄養塩類管理制度創設の意義及び実効性、自然海浜保全地区の指定対象に再生された藻場・干潟を追加した理由及びその効果、瀬戸内海における漂流ごみ等の対策の在り方等について質疑が行われ、採決の結果、全会一致をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

自然公園法の一部を改正する法律案（閣法第48号）は、国立公園等を保護しつつ

地域の主体的な取組による利用の増進を図るため、質の高い自然体験活動の促進又は利用拠点の質の向上のための協議会の設置及び計画認定制度の創設、利用のための規制の強化等の措置を講じようとするものである。

委員会においては、法改正の意義及びその効果、設置される協議会の構成員及び運営の在り方、国立公園における廃屋への対応策、分譲型ホテルの在り方等について質疑が行われた。

質疑を終局した後、討論に入り、日本共産党より、本法律案に反対する旨の意見が述べられた。討論の後、採決の結果、本法律案は多数をもって原案どおり可決された。なお、附帯決議が付された。

地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律案（閣法第47号）は、我が国における脱炭素社会の実現に向けた対策の強化を図るため、2050年までの脱炭素社会の実現等の基本理念を新設するとともに、地域の再生可能エネルギーを活用した事業の実施に関する認定制度の創設、温室効果ガス算定排出量の報告制度の見直し等の措置を講じようとするものである。

委員会においては、参考人から意見を聴取するとともに、本法律案における国民の位置付け、再生可能エネルギー導入に係る促進区域の設定の在り方、地域における脱炭素化に係る合意形成の在り方、温室効果ガス算定排出量報告制度の更なる充実の必要性等について質疑が行われ、採決の結果、全会一致をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律案（閣法第61号）は、プラスチックに係る資源循環の促進等を図るため、市町村による再商品化及び事業者による自主回収・再資源化の促進のための制度を創設するとともに、プラスチック使用製品廃棄物の排出抑制等の措置を講じようとするものである。

委員会においては、ワンウェイプラスチック製品の使用の合理化の在り方、プラスチック使用製品の削減を進める必要性、一括回収の市町村への影響と支援策の在り方、再生素材や代替素材の利用促進を支援する必要性等について質疑が行われ、採決の結果、全会一致をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

〔国政調査等〕

3月9日、環境行政等の基本施策について小泉国務大臣から所信を聴くとともに、令和3年度環境省予算及び環境保全経費の概要について笹川環境副大臣から、公害等調整委員会の業務等について荒井公害等調整委員会委員長から、原子力規制委員会の業務について更田原子力規制委員会委員長からそれぞれ説明を聴いた。

3月16日、環境行政等の基本施策に関する件、公害等調整委員会の業務等に関する件及び原子力規制委員会の業務に関する件について調査を行い、福島県内の除

去土壌等の県外最終処分に向けた次世代を含む国民の理解の必要性、自然公園法改正案によるクマの餌付け等の規制に当たり現場の声を制度に反映させる必要性、カーボンプライシング導入に際し消費者の行動変容を促す施策導入の必要性、電源構成における原子力発電の位置付けなどに対する環境大臣の見解、カーボンニュートラルに向け多くの検討会が設置され議論が早急に進んでいることへの懸念、グテーレス国連事務総長によるG7への早急な石炭火力発電廃止計画作成要請に対する環境大臣の見解、ペットショップにおける生体販売に対する環境大臣の見解、環境問題等に関する国民の意識向上のための施策等について質疑を行った。

3月22日、予算委員会から委嘱された令和3年度一般会計予算、同特別会計予算及び同政府関係機関予算（総務省所管（公害等調整委員会）及び環境省所管）について審査を行い、未来を担う若者や子どもへの環境問題に関する普及啓発の強化及び若者等との対話の必要性、電源構成における原子力発電の位置付けに関する環境大臣の見解、令和3年度予算に計上されている地方公共団体の温室効果ガス排出削減に係る事業によるCO₂削減量の見込み、東京電力福島第一原子力発電所事故による除染等に関する費用が膨れ上がっていることへの環境大臣の認識、電力事情の異なる欧州に倣って気候変動対策を行うことに対する環境省の見解、十和田八幡平国立公園の旧十和田観光ホテルを環境省が撤去するに至った経緯及びその費用、新たな飼養管理基準において帝王切開の上限回数を定めていない理由、災害時にも水洗トイレとして機能する防災トイレの整備拡充の必要性等について質疑を行った。

4月6日、常呂・能取風力発電事業の地域への影響及び環境影響評価法の対象要件の見直し、日本企業の国際競争力維持のための再生可能エネルギー導入拡大への取組、気候変動対策推進のための有識者会議設置の意義、神戸製鋼所が計画している石炭火力発電所の環境影響評価手続における環境大臣の意見、中央環境審議会における若者の意見聴取の必要性、気候変動対策におけるプラスチックごみの資源循環の有効性等について質疑を行った。

4月15日、東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の処分の基本方針、2030年度温室効果ガス排出削減目標の見直し、地球温暖化対策に積極的な企業の情報提供の在り方、ワーケーションの促進に向けた課題、神戸製鋼所が計画している石炭火力発電所の環境影響評価手続における環境大臣の意見、マイクロプラスチックとなる人工芝等の規制の必要性、国立公園及び国定公園内に整備される太陽光発電施設等について質疑を行った。

5月27日、東京電力福島第一原子力発電

所におけるALPS処理水の処分に係る問題、G7首脳会合及びCOP26に向けた政府の気候変動対策への取組方針、フードバンクの継続的な経営のための支援、地方公共団体による災害廃棄物処理への支援、2030年度温室効果ガス削減目標達成に向けた地方公共団体への支援策、石狩湾で計画されている洋上風力発電事業による環境への影響、気候変動対策における気候正義の位置付け、香りに着目した地域循環共生圏の構築等について質疑を行った。

6月8日、東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の処分に係る海域モニタリング、クマによる人身被害防止に向けた関係省庁等の連携の在り方、2030年度温室効果ガス削減目標達成に向けた未利用熱等の利用促進、福島県内の除去土壌の減容・再生利用に係る基盤技術開発の2024年度完了の見通し、有機フッ素化合物PFOA及びPFOSによる環境汚染問題、鉛製銃弾による野生鳥獣の鉛中毒の問題、エネルギー分野の脱炭素化に向けたアンモニアの利活用等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○令和3年3月9日(火) (第1回)

- 環境及び公害問題に関する調査を行うことを決定した。
- 環境行政等の基本施策に関する件について小泉国務大臣から所信を聴いた。
- 令和3年度環境省予算及び環境保全経費の概要に関する件について笹川環境副大臣から説明を聴いた。
- 公害等調整委員会の業務等に関する件について荒井公害等調整委員会委員長から説明を聴いた。

- 原子力規制委員会の業務に関する件について更田原子力規制委員会委員長から説明を聴いた。

○令和3年3月16日(火) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 環境行政等の基本施策に関する件、公害等調整委員会の業務等に関する件及び原子力規制委員会の業務に関する件について小泉国務大臣、堀内環境副大臣、宮崎環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

猪口邦子君（自民）、徳永エリ君（立憲）、竹谷とし子君（公明）、片山大介君（維新）、柳田稔君（民主）、山下芳生君（共産）、寺田静君（無）、平山佐知子君（無）

○令和3年3月22日（月）（第3回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○令和三年度一般会計予算（衆議院送付）

令和三年度特別会計予算（衆議院送付）

令和三年度政府関係機関予算（衆議院送付）

（総務省所管（公害等調整委員会）及び環境省所管）について小泉環境大臣、笹川環境副大臣、神谷環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

三木亨君（自民）、鉢呂吉雄君（立憲）、竹谷とし子君（公明）、片山大介君（維新）、柳田稔君（民主）、市田忠義君（共産）、寺田静君（無）、平山佐知子君（無）

本委員会における委嘱審査は終了した。

○令和3年4月6日（火）（第4回）

○理事の補欠選任を行った。

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○内閣府の気候変動に関する世論調査の結果に関する件、常呂・能取風力発電事業の地域への影響及び環境影響評価法の対象要件の見直しに関する件、日本企業の国際競争力維持のための再生可能エネルギー導入拡大への取組に関する件、気候変動対策推進のための有識者会議設置の意義に関する件、神戸製鋼所が計画している石炭火力発電所の環境影響評価手続における環境大臣の意見に関する件、中央環境審議会における若者の意見聴取の必要性に関する件、気候変動対策におけるプラスチックごみの資源循環の有効性に関する件等について小泉環境大臣、宗清経済産業大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

徳永エリ君（立憲）、竹谷とし子君（公明）、片山大介君（維新）、山下芳生君（共産）、寺田静君（無）、平山佐知子君（無）

○瀬戸内海環境保全特別措置法の一部を改正する法律案（閣法第43号）について小泉環境大

臣から趣旨説明を聴いた。

○令和3年4月8日（木）（第5回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○瀬戸内海環境保全特別措置法の一部を改正する法律案（閣法第43号）について小泉環境大臣、神谷環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

三木亨君（自民）、鉢呂吉雄君（立憲）、徳永エリ君（立憲）、竹谷とし子君（公明）、片山大介君（維新）、柳田稔君（民主）、山下芳生君（共産）、寺田静君（無）、平山佐知子君（無）

（閣法第43号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、共産、無（寺田静君、橋本聖子君、平山佐知子君）

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

○令和3年4月15日（木）（第6回）

○理事の補欠選任を行った。

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の処分の基本方針に関する件、2030年度温室効果ガス排出削減目標の見直しに関する件、地球温暖化対策に積極的な企業の情報提供の在り方に関する件、ワーケーションの促進に向けた課題に関する件、神戸製鋼所が計画している石炭火力発電所の環境影響評価手続における環境大臣の意見に関する件、マイクロプラスチックとなる人工芝等の規制の必要性に関する件、国立公園及び国定公園内に整備される太陽光発電施設に関する件等について小泉環境大臣、江島経済産業副大臣、神谷環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

徳永エリ君（立憲）、鉢呂吉雄君（立憲）、竹谷とし子君（公明）、片山大介君（維新）、山下芳生君（共産）、寺田静君（無）、平山佐知子君（無）

○自然公園法の一部を改正する法律案（閣法第

48号) (衆議院送付) について小泉環境大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和3年4月22日(木) (第7回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 自然公園法の一部を改正する法律案(閣法第48号) (衆議院送付) について小泉環境大臣、神谷環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

[質疑者]

三木亨君(自民)、鉢呂吉雄君(立憲)、徳永エリ君(立憲)、竹谷とし子君(公明)、片山大介君(維新)、柳田稔君(民主)、山下芳生君(共産)、寺田静君(無)、平山佐知子君(無)

(閣法第48号)

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、
無(寺田静君、橋本聖子君、平山佐知子君)

反対会派 共産

なお、附帯決議を行った。

○令和3年5月11日(火) (第8回)

- 地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第47号) (衆議院送付) について笹川環境副大臣から趣旨説明を聴いた。
- また、同法律案について参考人の出席を求めることを決定した。

○令和3年5月18日(火) (第9回)

- 地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第47号) (衆議院送付) について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

[参考人]

社会地球化学研究所主任研究員 水谷広君
WWF ジャパン専門ディレクター(環境・エネルギー) 小西雅子君

弁護士

駒澤大学大学院法曹養成研究科法曹養成専攻講師 小島延夫君

[質疑者]

三木亨君(自民)、徳永エリ君(立憲)、竹

谷とし子君(公明)、片山大介君(維新)、柳田稔君(民主)、山下芳生君(共産)、寺田静君(無)、平山佐知子君(無)

○令和3年5月20日(木) (第10回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第47号) (衆議院送付) について小泉環境大臣、笹川環境副大臣、宮崎環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

滝沢求君(自民)、芝博一君(立憲)、竹谷とし子君(公明)、片山大介君(維新)、柳田稔君(民主)、山下芳生君(共産)、寺田静君(無)、平山佐知子君(無)

○令和3年5月25日(火) (第11回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律案(閣法第47号) (衆議院送付) について小泉環境大臣、宮崎環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

[質疑者]

徳永エリ君(立憲)、竹谷とし子君(公明)、片山大介君(維新)、柳田稔君(民主)、山下芳生君(共産)、寺田静君(無)、平山佐知子君(無)

(閣法第47号)

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、
共産、無(寺田静君、橋本聖子君、平山佐知子君)

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

○令和3年5月27日(木) (第12回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の処分に係る問題に関する件、G7首脳会合及びCOP26に向けた政府の気候変動対策への取組方針に関する件、フードバンクの継続的な経営のための支援に関する件、地方公共団体による災害廃棄物処理への支援に関する件、2030年度温室効果ガス削減

目標達成に向けた地方公共団体への支援策に関する件、石狩湾で計画されている洋上風力発電事業による環境への影響に関する件、気候変動対策における気候正義の位置付けに関する件、香りに着目した地域循環共生圏の構築に関する件等について小泉国務大臣、更田原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

滝波宏文君（自民）、鉢呂吉雄君（立憲）、竹谷とし子君（公明）、片山大介君（維新）、柳田稔君（民主）、山下芳生君（共産）、寺田静君（無）、平山佐知子君（無）

- プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律案（閣法第61号）（衆議院送付）について小泉環境大臣から趣旨説明を聴いた。

○令和3年6月1日（火）（第13回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律案（閣法第61号）（衆議院送付）について小泉環境大臣、笹川環境副大臣、宮崎環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

石井準一君（自民）、鉢呂吉雄君（立憲）、竹谷とし子君（公明）、片山大介君（維新）、柳田稔君（民主）、山下芳生君（共産）、寺田静君（無）、平山佐知子君（無）

○令和3年6月3日（木）（第14回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律案（閣法第61号）（衆議院送付）について小泉環境大臣、笹川環境副大臣、宗清経済産業大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

徳永エリ君（立憲）、鉢呂吉雄君（立憲）、竹谷とし子君（公明）、片山大介君（維新）、柳田稔君（民主）、山下芳生君（共産）、寺田静君（無）、平山佐知子君（無）

（閣法第61号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、

共産、無（寺田静君、橋本聖子君、平山佐知子君）

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

○令和3年6月8日（火）（第15回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の処分に係る海域モニタリングに関する件、クマによる人身被害防止に向けた関係省庁等の連携の在り方に関する件、2030年度温室効果ガス削減目標達成に向けた未利用熱等の利用の促進に関する件、福島県内の除去土壌の減容・再生利用に係る基盤技術開発の2024年度完了の見通しに関する件、有機フッ素化合物PFOA及びPFOSによる環境汚染問題に関する件、鉛製銃弾による野生鳥獣の鉛中毒の問題に関する件、エネルギー分野の脱炭素化に向けたアンモニアの利活用に関する件等について小泉環境大臣、更田原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

森まさこ君（自民）、徳永エリ君（立憲）、竹谷とし子君（公明）、片山大介君（維新）、山下芳生君（共産）、寺田静君（無）、平山佐知子君（無）

○令和3年6月16日（水）（第16回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 請願第581号外29件を審査した。
- 環境及び公害問題に関する調査の継続調査要請書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。